

かわにし

令和4年
2022年
2月

市議会だより No.236

<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

川西市議会

検索

川西市議会
ホームページ



12月定例会号 もくじ



議員定数2人を削減する議員提出議案 など可決	2
常任委員会報告 総務生活常任委員会	3
厚生文教常任委員会	4
建設公企常任委員会	5

審議結果等一覧・賛否の状況	6
一般質問	8

議員定数2人を削減する 議員提出議案など可決

社会福祉事業にかかわる職員配置基準等の見直しを求める意見書提出

令和3年第6回定例会市議会は、11月25日から12月24日までの30日間の会期で開催されました。

今期定例会市議会では、市長をはじめとする特別職や市議会議員、一般職職員等の期末手当の支給率を人事院勧告を踏まえ引き下げる条例をはじめ、子育て世帯への臨時特別給付金支給に伴う一般会計補正予算など市長から提案された24議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

また、定例会最終日には、議員報酬を改選後から10%削減する「川西市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例」や現在の議員定数26人を次回の一般選挙後に2人削減して24人とする「川西市議会基本条例の一部を改正する条例」が議員提出議案として提出されました。両議案ともに賛成・反対それぞれの立場の議員が討論に立ち、活発に議論が交わされたところで、その概要は次のとおりです。

まず、報酬を削減する議案については、賛成の立場から市の厳しい財政状況やコロナ禍といった社会情勢を考慮すると議員報酬を削減すべきとする意見が述べられました。一方、反対の立

場からは、議会基本条例では議員報酬は市特別職等報酬審議会の答申を考慮して決定するとされており、審議会から「据え置き」の答申が出された直後に、答申内容と異なる判断をすべきでないとの意見が述べられ、賛成少数で否決されました。

また、議員定数を削減する議案については、多様な民意の市政への反映や、議会としての監視機能を発揮するには、一定の議員数は必要であることから議員数を減らすべきではないという反対意見がありました。一方、賛成の立場から、市の財政見通しや人口の推移、近隣自治体の動向などを踏まえたうえで、議員自らが民意を効果的に反映するように研鑽を重ねることを基本として、身を切る改革を実行すべきであるとの意見があり、賛成者多数で可決されました。定数の削減は10月に実施予定の一般選挙から適用されます。

このほか、コロナ禍において厳しい労働環境に置かれている社会福祉事業にかかわる労働者について、市民が安心して利用できるよう、労働環境改善を求めて国に意見書を提出しています。

議会の活動状況

11月

- 25日○第6回市議会定例会(招集日)
 - 議員協議会
- 26日○総務生活常任委員会
 - 広報委員会
- 30日○第6回市議会定例会(第2日)
 - 議会運営委員会

12月

- 1日○議会運営委員会
- 2日○第6回市議会定例会(第3日)
- 3日○第6回市議会定例会(第4日)
- 7日○総務生活常任委員会
 - 総務生活常任委員協議会
- 8日○厚生文教常任委員会
- 9日○建設公企常任委員会

○議員協議会

- 16日○広報委員会
 - 議会運営委員会
- 21日○議員協議会
 - 議会運営委員会
- 24日○第6回市議会定例会(最終日)
 - 厚生文教常任委員会
 - 中心市街地・新名神周辺整備

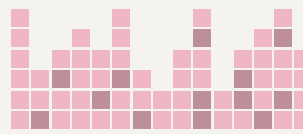
調査特別委員会

- 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種調査委員会
- 議会運営委員会

1月

- 14日○議会運営委員会
- 25日○議会運営委員会
- 28日○広報委員会

常任委員会報告



総務生活常任委員会

委員 (委員長 〓 副委員長 〓)

◎磯部 裕子 〓谷 正充
吉富 幸夫 秋田 修一 黒田 美智
平岡 謙 多久和桂子 津田加代子

川西市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

本案は、人事院の国家公務員給与改定勧告を踏まえた一般職等の職員の期末手当支給率の引き下げのほか、給与体系の適正化としての管理職特別勤務手当に係る規定の改正や、国民健康保険事業の普通調整交付金の申請誤りに伴う対応として、特別職及び一般職の期末手当を減額する期間の延長や市長、副市長の期末手当の減額などを行うため、条例の一部を改正しようとするものである。

質問

本市のラスパイレース指数は、近年100以下で推移し、人事院勧告も2年連続でマイナス改定となっている。その中で、近年の

新型コロナウイルス感染症対策のほか、今年度実施された衆議院議員選挙で、選挙区が市内で5区と6区に分かれたことに伴い職員の事務量は増大していることから、これらの実情を考慮して本改正の内容を検討したのか。

答弁

直近の本市のラスパイレース指数は98・5という低水準であるが、これは平成30年度から5年間の時限的措置として実施している課長補佐級以上の給料減額期間が終了すれば上昇する可能性がある。

また、市職員の給料は、市民から納得を得られることが基本と考えており、コロナ禍の現状では人事院勧告に準拠しないことは難しいとの判断に至ったものである。

反対意見

国保の交付金申請誤りが市民に影響しないよう措置する姿勢のほか、管理職特別勤務手当の復活や会計年度任用職員の期末手当の削減幅に配慮している点は評価する。しかし、職員が平日夜間や休日まで公務に励む中、公務との比較になじまない規模や職種の企業調査に基づ

く人事院勧告による期末手当の引き下げは容認できない。



川西市役所本庁舎

川西市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、本市の行政課題に柔軟に対応するため、組織の見直しを行う必要があることから、条例の一部を改正しようとするものである。

質問

本改正により病院事業が令和4年4月より総合政策部から現在の健康増進部改め「健康医療部」へ移管されるが、総合医療センター開院は同年初で、市立川西病院跡地での今井病院による(仮称)川西リハビリテーション病院の開院はそれ以降である中で移管する理由を伺いたい。

答弁

現在、病院事業のハード面での整備は順調に進捗しているが、今後はソフト面の充実とし

て、地域医療の担い手である医師会との関係性をこれまで以上に強固にする必要がある。このため、他事業で日ごろから医師会との連携を密にしている現在の健康増進部に病院事業を統合し、一つの部署で一体的に取り組むことが市民にとってもわかりやすく、よりよい効果が得られると判断したものである。

令和3年度川西市一般会計補正予算(第9回)へ分割付託

質問

マイナポータルから健診結果を閲覧するためのシステム整備等の財源として、健診等結果の利活用に向けた国からの情報標準化整備事業費補助金277万3千円を追加しようとしているが、その詳細と個人情報保護に係る対策について伺いたい。

答弁

整備しようとするシステムは、医療機関が自治体に提出した健診結果を、国が管理する中間サーバに副本登録することで住民自身がマイナポータルを使って確認できるという仕組みで、閲覧できるのは提出先の自治体及び本人に限定されており、第三者に利用されることはない。

反対意見

人事院勧告準拠による期末手当支給率の引き下げ対象に、一般職及び会計年度任用職員が含まれているため、賛成できない。



ラスパイレース指数

全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数。

厚生文教常任委員会

委員 (委員長 〇〇 副委員長 〇〇)

◎岡 留美 〇北野 紀子
大崎 淳正 中曾千鶴子 山下 隆志
松隈 紀文 中井 成郷 田中 麻未
大矢根秀明

川西市社会福祉施設の指定管理者の指定について

本案は、本市の社会福祉施設である心身障害者福祉センターの4施設、養護老人ホーム満寿荘及び老人福祉センターの3施設の指定管理者として、川西市社会福祉協議会を指定しようとするもの。

質問 今回の指定は非公募により行われているが、複数の事業者に意見を求めることで、現状の新たな課題等が明らかになることもあ

ると考えられることから、非公募とした理由について伺いたい。

答弁 指定管理者の指定は公募を基本としているが、目的を達成するためには、施設のよりよい運営に資する方法を選択すべきと考えている。今回の福祉の分野では、事業者ごとの独自サービスの展開による競争性が働かないことや、利用者が長期的に一貫したサービスを受ける必要性などを勘案して非公募とした。今後は、モニタリング等を通じてサービスの質を担保することとし

ているが、仮に円滑な運営ができないことがあれば、新たな選定の可能性を検討しなければならぬと考えている。

答弁 選定候補法人の川西市社会福祉協議会は、地域福祉の大きな担い手であり、施設管理の経験が豊富であることや、毎年度実施している管理運営評価会議では、運営実績等についておおむね良好な評価を受けていることも非公募とした理由である。

令和3年度川西市一般会計補正予算(第9回)へ分割付託

質問 新型コロナウイルスワクチンの1回目の接種の際には、その予約時に混乱が生じたケースを聞き及んでいるが、3回目の接種を実施していくにあたっての市の対応について伺いたい。

答弁 現時点では、3回目の接種については2回目の接種から8カ月経過後となっており、本市では、先行した高齢者に係る2回目のワクチン接種の完了が6月21日以降となっていることから、3回目は令和4年2月下旬から集団接種の方法で開始することを想定している。しかし、国では接種時期の前倒しを検討されていることから、本市における接種体制が整い次第、市民に周知していきたいと考えている。



質問 図書館運営事業において、400点の電子書籍ライセンスを追加購入するための費用として149万6千円を追加されているが、電子書籍の現在の利用状況や、利用者からの要望等への対応について伺いたい。

答弁 利用状況については、令和3年4月から11月までの実績として、ログイン数が9459件、閲覧数が1万953件、貸出件数が3458件となっている。また、電子書籍は数や質が限られているため、現在のところは利用者からの要望は受け付けていないが、今後、電子書籍の選定・購入の際には利用者の意見を反映できるように方法を考えていきたい。

反対意見 本補正には、人事院勧告に準拠した期末手当支給率の引き下げが含まれているため賛成できない。また、令和3年度川西市一般会計補正予算(第10回)

国の子育て世帯への臨時特別給付金については、12月23日に本年9月分児童手当受給者に対して5万円を先行支給したとのことであるが、これらの申請を要しない、いわゆる「プッシュ型支給世帯」の支給件数を伺いたい。

質問 また、令和3年9月以降に出生した新生児と、児童手当受給対象である弟妹がいらない16〜18歳(高校生)を養育する世帯への支給には申請が必要だが、対象や支給スキームなどの詳細についても併せて伺いたい。

答弁 対象児童数1万6375人のうち、プッシュ型では9008人に対して先行支給している。

答弁 新生児については令和3年10月1日から令和4年3月31日出生が申請を要する対象となり、令和4年3月31日までに申請期限としているが、3月末出生の子どもは4月15日まで申請可能としている。また、申請を要する高校生は平成15年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた子どもで、両者とも申請に基づき10万円の一括支給が可能となる。

かわにし市議会だより 236号

建設公企常任委員会

委員 (委員長 〇〇 副委員長 〇〇)

◎江見 輝男 〇坂口 美佳
麻田 寿美 福西 勝 西山 博大
吉岡 健次 小山 敏明 斯波 康晴
久保 義孝

市道898号橋梁補修工事請負契約の変更について

本案は、9月議会において議決を得て締結した市道898号橋梁補修工事請負契約について、河川内に工事用仮設進入路を設置するに当たり、河川管理者である県の指導により進入路の形状を切り土から盛り土に変更することに加え、河川の仮締切工で使用する土のうを作成する土を河川の土砂から購入土に変更したことや、ダムからの放流量が想定よりも多く、ポンプによる水替工を追加する必要が生じたため、契約金額を1689万918円増額し、3億7449万8300円とするものである。

質問 設道路の形状変更や河川の土砂が土のう作成に適さないことが挙げられているが、これらは県との協議や事前の調査で把握できなかったのか。

また、水替工の追加についても、昨今の気候変動を考慮すると、当初

からその影響を加味すべきであったと考えるが、変更に至った経緯と詳細について伺いたい。

答弁 本工事の詳細設計は令和3年4月から行っており、委託したコンサルタント業者や県、独立行政法人水資源機構一庫ダム管理所とともに事前調査や協議を進めてきたが、本契約締結後に県と最終協議を行ったところ、河川の掘削は認められないという結論に至ったものである。

答弁 土砂については、コンサルタント業者では仮掘削が困難であるため目視により確認していたが、契約後に掘削したところ土のうに適さないことが判明したものである。

また、ダムの放流量については、4月時点の想定では問題なかったが、梅雨を越えた時期に見直しされた結果、水量が増加することが判明したため、今回ポンプ水替工を追加することとなったものである。

市道1449号橋梁補修工事請負契約の変更について
本案は、9月議会において議決を得て締結した市道1449号橋梁補修工事請負契約について、工事現場に足場を設置するに当たり、労働基準監督署と協議した結果、労働災害防止の観点から足場の構造をより強

固なものに変更し、安全性を高めるよう指導があり、契約金額を2690万49円増額し、3億5876万5千円とするものである。

質問 指導に基づき足場をより強固なものとするための契約変更であるが、当初設計の足場は安全基準を満たしていたのか。また、この指導の妥当性に係る検証経過も併せて確認したい。

答弁 足場には一定の安全基準が設けられているため、設計はコンサルタント業者との協議のもとで基準に合致するように行っていたが、労働基準監督署への届け出については実際に施工する請負業者が行うことになっており、その結果、補強という指導を受けたものである。

本工事の請負業者は、全国的に事業展開する大手の橋梁専門会社であり、その業者でも今回の指導は意外なものであったようである。今回の工事現場に近い橋梁工事現場をはじめ、昨今、続発している橋梁補修工事における転落事故の影響もあって、労働基準監督署の指導が入っているのが現状であることから、より強固な足場に変更せざるを得なかったものと考えている。

令和3年度川西市水道事業会計補正予算(第1回)

質問 令和4年度から6年度の3年間を期間とする債務負担行為を設定しようとしている久代浄水場運転管理業務委託について、5年間としなかった理由を伺いたい。

答弁 契約期間については、短期間の契約では委託料が割高となり、5年間とすると人員確保の観点から不適切であるとのヒアリング結果に基づき、3年間と設定している。

答弁 限度額については、業務の大半を担う保全技師補で7.4%、保全技術員補で18.2%と、人件費が3年前より上昇しているため増額となったものである。



久代浄水場

審議結果等一覧

第6回川西市議会(定例会)

※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内容	審議結果等	付託委員会
報告第17号	専決報告について 専決第6号 令和3年度川西市一般会計補正予算(第8回)	18歳以下の児童を養育し、児童手当制度の所得制限基準を満たす者に対し、児童一人につき5万円を年内に給付するための経費を追加	承認 (全員賛成)	-
議案第59号	川西市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告等を踏まえ、一般職の職員等の期末手当に係る支給率の引下げを行うとともに、給与体系の適正化の観点から、管理職員特別勤務手当の支給に関する規定を改定する ほか	原案可決 (賛成多数)	総務生活
議案第60号	川西市L GWAN無線ネットワーク機器の買入れについて	L GWAN無線ネットワーク機器を2145万円で購入する	原案可決 (全員賛成)	〃
議案第61号	川西市市民体育館等整備に伴うPFI事業に係る事業契約の変更について	物価変動等によるサービス購入費の見直し規定に基づき、減額する	〃	〃
議案第62号	川西市低炭素型複合施設整備に伴うPFI事業に係る事業契約の変更について	物価変動等によるサービス購入費の見直し規定に基づき、増額する	〃	〃
議案第63号	川西市知明湖キャンプ場の指定管理者の指定について	川西市知明湖キャンプ場の指定管理者として、一般社団法人一庫ダム湖周辺環境整備センターを指定する	〃	〃
議案第64号	川西市社会福祉施設の指定管理者の指定について	川西市心身障害者総合福祉センターを構成する4施設、川西市立養護老人ホーム満寿荘及び川西市老人福祉センターの3施設の指定管理者として、川西市社会福祉協議会を指定する	〃	厚生文教
議案第65号	川西市老人憩いの家鶴寿会館の指定管理者の指定について	川西市老人憩いの家鶴寿会館の指定管理者として、鶴之荘自治会を指定する	〃	〃
議案第66号	川西市久代児童センターの指定管理者の指定について	川西市久代児童センターの指定管理者として、川西市社会福祉協議会を指定する	〃	〃
議案第67号	市道898号橋梁補修工事請負契約の変更について	契約金額を3億5760万7382円から3億7449万8300円に変更する	〃	建設公企
議案第68号	市道1449号橋梁補修工事請負契約の変更について	契約金額を3億3186万4951円から3億5876万5000円に変更する	〃	〃
議案第69号	川西市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について	行政組織の再編整備等を行う	〃	総務生活
議案第70号	川西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	産科医療補償制度の見直しにより、当該制度の掛金が4,000円引き下げられることに伴い、政令等が改正され、保険加入者の出産育児一時金に算入する当該掛金相当額が同様に引き下げられる一方で、本人給付金を4,000円引き上げ、現行の支給総額である42万円が維持されることとなったため、本市の国保加入者に対する出産育児一時金についても同様の対応を図るべく、条例の一部を改正する	〃	厚生文教
議案第71号	川西市中学校給食センター設置条例の制定について	中学校給食をミルク給食から全員喫食の完全給食に移行するため、川西市中学校給食センターを設置するにつき、法律の規定に基づき、新たに条例を制定する	〃	〃
議案第72号	川西市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	中央北地区土地区画整理事業の収束に伴い、令和4年度以降において、当該事業特別会計を廃止するため、条例の一部を改正する	〃	建設公企
議案第73号	阪神間都市計画市街地再開発事業川西能勢口駅南地区第二種市街地再開発事業の施行に関する条例を廃止する条例の制定について	昭和55年に施行された川西能勢口駅南地区における市街地再開発事業について、既に完了していることから、本条例を廃止する	〃	〃
議案第74号	川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	長期優良住宅の認定促進等による住宅の質の向上などを図るため、関係法律等が一部改正されたことに伴い、長期優良住宅建築等計画に係る申請などに対する審査手数料を改定するとともに、規定を整理する	〃	〃
議案第75号	令和3年度川西市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2回)	人件費予算の補正を行うほか、帳票作成及び月次納通封入封緘業務等について債務負担行為を設定する	原案可決 (賛成多数)	厚生文教
議案第76号	令和3年度川西市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1回)	人件費予算の補正を行うほか、帳票等作成処理業務について債務負担行為を設定する	〃	〃
議案第77号	令和3年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第3回)	人件費予算の補正を行う	〃	〃
議案第78号	令和3年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1回)	人件費予算の補正を行う	〃	建設公企
議案第79号	令和3年度川西市水道事業会計補正予算(第1回)	浄水処理に係る薬品購入などについて債務負担行為を設定する	原案可決 (全員賛成)	〃
議案第80号	令和3年度川西市下水道事業会計補正予算(第1回)	受託工事収益、受託工事費、消費税及び地方消費税について増額補正を行うほか、汚水水質分析業務委託などについて債務負担行為を設定するとともに、利益剰余金の処分の補正では、繰越利益剰余金のうち、減債積立金を増額する	〃	〃
議案第81号	令和3年度川西市一般会計補正予算(第9回)	歳入歳出予算の総額に8億8013万3000円を追加、歳入歳出予算の総額は594億9978万6000円	原案可決 (賛成多数)	総務生活 厚生文教 建設公企
議案第82号	川西市病院事業の使用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	分べんに関連して発症した重度脳性麻痺児とその家族に対する補償のほか、脳性麻痺の原因分析・再発防止を目的に設立された産科医療補償制度が見直しされ、掛金が引き下げられたことに伴い、市立川西病院の使用料である「普通分べん介助」の料金を減額するため、条例の一部を改正する	原案可決 (全員賛成)	建設公企
議案第83号	令和3年度川西市一般会計補正予算(第10回)	18歳以下の児童を養育し、児童手当制度の所得制限基準を満たす者に対し、児童一人につき合計10万円を年内に給付することを目的に、後統分として5万円を追加するための経費を追加	〃	厚生文教
請願第2号	議会動画のライブ配信の実現を要する請願書(令和3年第4回定例会提出)	川西市議会の議会動画について、本会議のライブ配信を要する。併せて、常任委員会や特別委員会、議員協議会の配信(ライブまたは録画)も要する	継続審査 (全員賛成)	議会運営委員会
請願第4号	川西市の公立小、中学校におけるバリアフリー化の推進及びバリアフリー化計画の策定を求める請願書	「川西市公立小中学校バリアフリー化計画」をできるだけ早く策定し、市内全小中学校のバリアフリー化を進めることなどを求める	採択 (全員賛成)	厚生文教

議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
請願第5号	含羅林山開発地区に複数出入口を要望する請願書	物流センターと工場が建設される見込みの含羅林山地区に複数の出入り口を設けることを要望する	採 択 (全員賛成)	建 設 公 企
意見書案第3号	社会福祉事業にかかわる職員配置基準等の見直しを求める意見書	国は社会福祉事業にかかわる職員の労働環境を整えるため、配置基準を見直し、それに見合う予算措置を講じることを求める	原案可決 (全員賛成)	-
請願第3号	社会福祉事業にかかわる職員配置基準等の抜本的引上げの意見書提出を求める請願書	〃	採 択 (全員賛成)	厚 生 文 教
議員提出議案第1号	川西市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議員報酬を改選後から10%削減する	原案否決 (賛成少数)	-
議員提出議案第2号	川西市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	次の一般選挙から議員定数を26人から24人に改める	原案可決 (賛成多数)	-

賛否の状況

※賛否が分かれたもののみ掲載

賛成：○ 反対：×

議案名	会派名		市民クラブ “改革の風”					川西まほろば会					公明党				明日のかわにし				日本共産党 議員団			無所属				
	議員名		岡留美	福西勝	中井成郷	谷正充	津田加代子	西山博大	松隈紀文	磯部裕子	秋田修一	久保義孝	大矢根秀明	大崎淳正	麻田寿美	平岡謙	江見輝男	多久和桂子	田中麻未	坂口美佳	小山敏明	黒田美智	吉岡健次	北野紀子	吉富幸夫	中曾千鶴子	山下隆志	斯波康晴
第6回 定例会	議案第59号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第75号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第76号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第77号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第78号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第81号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提出議案第1号		×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第2号		○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	

※地方自治法の規定により、久保義孝議長は議員として議決に加わる権利を有していません。(ただし、可否同数のときは議長の決するところによる)

Kawanishi City council

みんなの市議会 No.86

議会が議決すべき事項は



このコーナーでは、市議会の機能や役割などを紹介するとともに、1年間にわたる議会の活動状況などをお知らせしています。

今回は、議会の中心的な権限である「議決権」について、議会が議決すべき事項、いわゆる「議決事件」の具体的な内容等を紹介いたします。

地方議会の議決権は、大きく二つに分けられます。その一つは、条例の制定・改廃や予算などを議決する「地方公共団体の意思(団体意思)を決定する権限」です。もう一つは、議員が提案する意見書の議決や決議を行うことなど、「議会自身の意思(機関意思)を決定する権限」です。

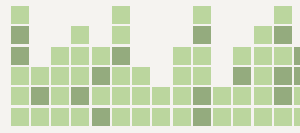
一般的に、地方議会は、地方公共団体の議決機関として認識されています。そこで今回は、「地方公共団体の意思(団体意思)を決定する権限」について紹介いたします。議会が、その地方公共団体の意思を決定するために議決すべき事項、すなわち「議決事件」については、団体の事務執行を決定する重要なもので、住民の生活に大きな影響を与えます。そのため、特に基本的で重要な事項について、地方自治法に列挙されています。

その具体的な内容としては、条例の制定・改廃、予算の議決、決算の認定、地方税の賦課・徴収、契約の締結や財産の取得・処分などの項目に限定されています。

ただし、同法において、「その他法律又はこれに基づく政令により議会の権限に属する事項」もまた議決事項であるとされていることから、議会の議決事項の範囲は、かなり広く、地方公共団体の主要な事項、とりわけ、住民の権利・義務に関する事項は、その権限として包含されていると言えます。

このように議決事件は、広範・多岐にわたるとともに、住民の生活に影響を与える重要な事項であるだけに、その議決に際しては、多角的で慎重な審議が求められていると言えます。

一般質問



子ども 一時保護施設に保護された 児童の学習権保障を

無所属 中曾 千鶴子

の活用などの連携を図っていききたい。
その他の質問項目

○北朝鮮人権侵害問題啓発週間・北朝鮮人権侵害、拉致問題について

教育

スクールガード・リーダーを配置する考えは

公明党 江見 輝男

質問 文部科学省の令和3年度予算には、スクールガード・リーダーの育成や活動支援、ボランティアのスクールガードの養成・資質向上、スクールガード増員による見守りの強化及び活動支援を内容とする「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」として3億3800万円が計上され、警察官OBなど防犯の専門的な知識を有するスクールガード・リーダー等を学校へ配置することの重要性が明記されている。

そこで、本市の学校施設にスクールガード・リーダーを配置する考えや、現在活躍されている学校安全協力員の役割について伺いたい。

答弁

学校安全協力員には、子どもたちが安全に登校できるよう挨拶などの声かけや見守り、登校班への付き添いなどを行っていたりしている。現在のところ、当該協力



員の取りまとめや地域、学校、警察等との連携の役割を担っているのは、学校の管理職である校長や教頭であるが、安全確保の仕組みを見直す時期にあるものと認識している。スクールガード・リーダーの配置については、今後、子どもたちのために必要な取り組みや委託・ボランティア等の役割分担も含めた仕組みの見直しを行う中で検討していきたい。

市では、毎年11月の児童虐待防止推進月間に部課長級の職員がオレンジリボンを着用するなど、啓発活動を行っているが、その他の取り組みについて伺いたい。

また、虐待を受けるなどした子どもを一時的に預かる施設を県が市内に整備する予定であるとの新聞報道があったが、その施設で保護された児童は学校等に通えない実態がある。

そこで、これらの子どもに対して学習権を保障していくことが必要と考えるが、市の見解を伺いたい。

答弁

児童虐待防止推進月間においては、商業施設等で啓発活動を行うとともに、関係職員等に対する研修を実施し、虐待事案に対する関係機関の連携や支援方法について理解を深めたところである。

また、一時保護施設における学習権の保障は、設置者である県で検討されており、新たに設置予定の施設では、個別学習室の設置や指導員の増などの改善が検討されると聞き及んでいる。今後、県からの要請に応じて、教材の提供やオンライン授業

スポーツ

スケートボードなどの練習が可能な環境づくりを

市民クラブ、改革の風、福西 勝

質問 市内の各種競技者から、「人工芝のグラウンドが欲しい」という声を聞いており、競技者の技術向上に資するため、安全性の高い人工芝のグラウンドを整備する考えはないか。

また、東京オリンピックを契機としてスケートボードに注目が集まり、競技人口の増加が見込まれることから、練習可能な環境づくりについて市の考えを伺いたい。

答弁

人工芝のグラウンドは、クッション性に優れ、安全に利用できるため、一定の需要があると認識しているが、土のグラウンドに比べメンテナンス費用が高額となることから、既存施設への人工芝の敷設を行う計画はもっていない。今後、他市の事例や費用対効果を研究していきたい。

答弁

近隣住民から騒音などの苦情があり、公園でのスケート

ボードを禁止せざるを得ない状況がある。一方で、公園でスケートボードをする若者からは、練習場所が欲しいという要望もあり、今後、地域のニーズに合わせた公園の再編を進める中でスペースの確保やルールづくりなど、地域と利用者が共存できる施設整備の可能性を模索していきたい。

その他の質問項目

○市立幼稚園の今後について

保健

乳幼児健診を個別健診で実施する考え

明日のかわにし 田中 麻未

質問 現在、本市の乳幼児健診は、集団健診により保健センター一カ所で行われているが、北部の市民にとって、同センターはアクセスが良いとは言えないことから、天候に左右されることなく、子連れで来所しやすい場所で健診を受けることができる環境整備が必要と考える。

そこで、乳幼児健診を個別健診で実施することについて、市の考えを伺いたい。

答弁

乳幼児健診は、成長の節目で市の保健師と対面して、子育ての疑問や悩みを相談できる場であり、必要に応じて、その後の継続

支援へとつなげる大切な機会であることから、集団での実施が望ましいと考えている。また、1歳6カ月などの法定健診は、小児科医だけでなく、整形外科医等が診る内容もあることから、集団健診にしてきた経緯がある。

このため、本市の乳幼児健診については、集団健診を中心に実施するものの、保健センター以外でも受診できる体制の可能性等を含め、必要な健診の機会の確保に向けて、改めて医師会とも協議しながら検討していきたい。

その他の質問項目

○応急診療所の運営について ほか

病院

「総合医療センター」アクセス方法など問う

川西まほろば会 磯部 裕子

質問 開院に向けて準備が進んでいる川西市立総合医療センターについては、市民が安心・信頼できる病院となるよう期待するところである。

そこで、このセンターの駐車場の運用やアクセス方法のほか、当病院が基幹病院として充実する機能や、市民への情報発信についてもあわせて伺いたい。



建設中の川西市立総合医療センター

その他の質問項目
○保健センターのこれからの役割と課題や今後について

行政一般

安定的な人材確保に向けた市の方針を聞く

日本共産党議員団 黒田 美智

質問

令和2年4月から会計年度任用職員制度が開始され、本市においては、専門性の高い業務を行う嘱託職員をフルタイム会計年度任用職員とし、一時金支給についても勤続年数を加味して支給するなど、雇用の確保に努めていることは評価する。今後、これらの職員が退職の年齢を迎えるが、後継として資格や経験、スキルのある人材を安定的に確保することが必要と考える。

そこで、これらの人材の確保に対する市の方向性や、雇用・労働条件等のあり方について伺いたい。

答弁

一定の職種については、退職者の補充が困難な状況であると認識していることから、任期付職員の制度の活用をはじめ、柔軟な勤務形態も念頭において、人材確保の手法を検討していきたい。

答弁

個々の業務において、責任や権限により、職員を配置しているが、現在、会計年度任用職員



ラピッドカー（ラピッドレスポンスカー）

緊急自動車として登録された車に救急車が同乗し、消防機関の要請により救急現場に向かい、迅速に医師による救命医療を開始するための車両。

を充てて執行している業務において、正規職員を充てることが妥当と判断した場合は、その業務において正職化を図ることも可能と考えている。

その他の質問項目

○市民に寄り添う医療を確保することについて

まちづくり

舎羅林山開発による交通量への影響は

無所属 斯波 康晴

質問

舎羅林山の開発にかかる都市計画変更決定に関する都市計画審議会の資料では、交通量の検証を行った全ての交差点で、円滑な交通処理が可能な交差点需要率0.9を下回る結果となっている。しかし、現状でも曜日や時間帯によっては信号による渋滞が発生している箇所があり、数値と実情との間に差異が生じていると考えるが、この差異についての考え方や、渋滞の発生を懸念する市民への周知等について伺いたい。

答弁

交差点需要率という指標は、1時間単位で検証した場合の数値となっており、市内における主要な交差点の交通量の実情はこの数値と類似していることから、交通処理の容量を超えないものと判断

しているが、短期間で単発的な渋滞が発生する可能性は否めない。そこで、市内の交通量がピークの時間帯には、出入りする車両の通行量の抑制や、ルートの制限などの対策について事業者と継続的に協議が可能な仕組みを構築し、ソフト的な対策を検討していきたいと考えている。

また、市民へは意見交換会などで情報発信に努めており、今後とも必要に応じて説明会を開催するなど、適切な情報発信を行っていきたい。

教育

「スクールソーシャルワーカー」質の確保を

市民クラブ 改革の風 津田 加代子

質問

すべての中学校区においてスクールソーシャルワーカーが配置され、学校における相談支援体制の量は充足されていると認識しているが、各学校において、保護者、児童・生徒からの相談への支援や教職員との連携については、学校によって差があると聞いている。スクールソーシャルワーカーの質を確保し、学校間の差を埋めることが必要と考えるが、市の見解を伺いたい。

答弁

スクールソーシャルワーカーについては、年次的に量の充実を図ってきており、今後は

質の確保が重要な課題であると認識している。

今回、こども若者相談センターに相談支援体制を集約したことで、連絡や調整、情報共有を図りながら、学校間で相談の質に差異が生じないような取り組みを進めていきたいと考えている。

答弁

スクールソーシャルワーカーが学校組織の一員だということを知職員が認識し、相談案件について共に議論することで、チームとして定着できるように組織づくりを進めていきたいと考えている。

その他の質問項目

○コロナ禍、多忙化に拍車のかかる学校への支援（人的配置）について



こども若者相談センター（キセラ川西プラザ福祉棟2階）

保健

「带状疱疹ワクチン」接種費用助成制度の創設は

公明党 麻田 寿美

質問

带状疱疹は水痘・带状疱疹ウィルスの再活性化による病気で、発症率は加齢とともに高まる傾向にある。日本の成人の約9割はこのウィルスを体内に持っていると言われているが、ワクチンを接種することで発症を予防し、重症化を防ぐことができるため、最近では、接種費用の一部を助成する自治体もある。

高齢化率の高い本市では、罹患者も多いと想定されることから、その予防のため、ワクチンの周知や接種費用を助成する考えはないか伺いたい。

答弁

带状疱疹の予防には、この病気に適切に正しく理解することが重要であるとされており、ワクチンに関する情報も含め、市ホームページ等を活用し、広く市民に周知する必要があると認識している。

また、本市におけるワクチン接種に対する助成制度の創設については、現在、国で行っているワクチン接種の効果や副反応についての検証結果に加え、法律に基づいて実施する「定期接種」に位置づけられるか

一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会

検索

否かも踏まえた上で検討する必要があると考えており、近隣自治体等での助成制度の実施状況なども確認しながら、市医師会とも協議を行っていききたい。

情報化

「情報システムの標準化」市独自サービスへの影響は

日本共産党議員団 北野 紀子

質問 自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画に基づき、本市においても、住民基本台帳などの17業務について情報システムの標準化・共通化を進めることで、住民の利便性の向上や行政運営の効率化が図られる。その一方で、システムの仕様変更やカスタマイズが原則禁止となることにより、市の独自サービスの後退を危惧している。

そこで、国の標準化基準が市の独自業務を実施するにあたっての妨げになることや、仮に妨げとなった場合の対応について、市の考えを伺いたい。

答弁

今回の標準化で利用できるソフトウェアは、既に自治体業務で実績があるものを基本としており、自治体間の規模や制度の違いなども一定考慮されて開発されてい

る。

これらを除く市が独自で実施している事業については、制度設計が異なることで課題となる可能性があることと認識するため、システムの対応を理由としてサービスの提供に支障が出ることがないように、システムの整備を含め、市として必要な対策を講じていく考えである。

その他の質問項目

○ケアラー（介護者）支援について

環境保全

脱炭素社会の実現に向けた取り組み方針を聞く

日本共産党議員団 吉岡 健次

質問 令和3年11月の国連気候変動枠組条約第26回締約国会議において、世界平均気温の上昇を産業革命前に比べて一・五度以内に抑える各国の努力を盛り込んだグラスゴー気候合意が採択された。気候変動への対応は世界的な課題であり、環境問題は、一人一人の市民の取り組みが重要となり、その活動をサポートする自治体の役割が高まっていると考える。

そこで、再生可能エネルギーの利用促進をはじめ、脱炭素社会実現に向けた市の取り組み方針を伺いたい。

本市においては、環境率先行動計画を策定し、市の事務事業についてCO2削減に取り組んでいる。現在、地球温暖化の影響により、世界中で異常気象が発生しており、一人一人の市民の取り組みも必要不可欠であると認識している。

答弁

今後、国や県の方針を尊重しながら、地域の脱炭素について、市民、事業者、市がそれぞれの立場から取り組みを推進するために、令和4、5年度に行う環境基本計画策定作業の中で議論していきたい。

その他の質問項目

○コロナ禍でいつでも誰でも受けることができるPCR検査センターの設置について

環境美化

「大型ごみ処理手数料」キャッシュレス決済の導入を

公明党 平岡 謙

質問 本市では、平成28年5月から大型ごみの収集を有料化しており、既に5年を経過しているが、その効果について伺いたい。

また、本市では、大型ごみを排出する際に、ごみ処理券を購入して貼付する必要があるが、高齢化等により処理券を販売所で購入することが困難な市民もいると聞いている。近

隣市では、キャッシュレス決済の導入により、販売所での処理券購入が不要となった事例も見受けられることから、その導入に関する市の考えを伺いたい。

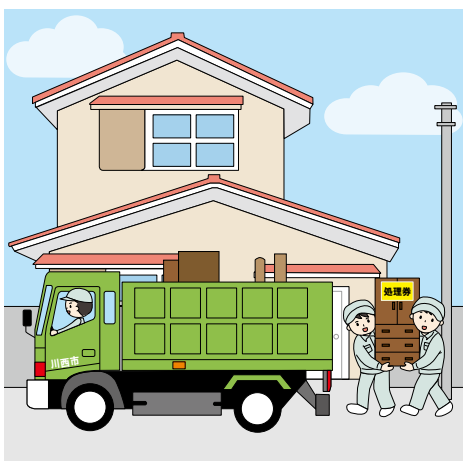
答弁

大型ごみ収集の有料化により、大型ごみの年間排出量が約40%減少したのみならず、ごみ全体の量も減少していることが効果であると認識している。

また、販売所で処理券を購入することが困難な市民に対しては、収集当日に処理券を購入できるよう配慮しているが、昨今のコロナ禍で、キャッシュレス決済が加速度的に普及していることから、近隣市の事例も参考にしながら、その導入に向けて取り組みを進めていきたい。

その他の質問項目

○児童生徒に快適な飲料水を提供することについて



自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画

令和2年12月に閣議決定された「デジタル・ガバメント実行計画」における自治体の情報システムの標準化・共通化などのデジタル社会構築に向けた各施策を効果的に進めていくために策定された計画で、令和2年度から7年度までを対象期間とする。自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化し、総務省及び関係省庁による支援策等を取りまとめている。



受理した陳情



- 陳情(舎羅林山地区開発について慎重に審議することを求めます)
- 要望書(新川西市民病院の障がい者児への対応について等)
- 川西市気候非常事態宣言に関する陳情
- 「SDGs 日本モデル」宣言に賛同することを求める陳情
- 舎羅林山開発業者「ESR社」の調査に関する陳情書
- 秋田美輪さんら拉致被害啓発に関する陳情書
- 大和地域内の阪急バス38便の運行に対する支援を求める陳情書
- スピード感があり、わかりやすい審議を求める陳情書

社会福祉事業にかかわる職員配置基準等の見直しを求める意見書〈全文〉

新型コロナウイルスの感染拡大は勢いが衰えることなく、10歳代や幼児にまで感染が確認されるようになってきています。この間、介護・障害者福祉事業所や保育事業所は、エッセンシャルワークとして事業継続を国や自治体から要請されてきました。それぞれの事業所においては、感染症対策を確実に実施していますが、残念ながら施設においてクラスターが発生し、亡くなる施設利用者が見受けられる実態があります。

一方で、これまでも福祉職場においては、その労働環境に起因する離職者が多く、募集しても人が集まらないため長期間にわたって欠員状態にある事業所もあります。その結果、必要としている人たちに十分な福祉サービスを提供することが困難になっています。

これでは、利用者である国民の安全・安心を守ることはでき

ず、社会福祉事業従事者は、長時間労働によって家庭生活の時間を奪われ、低賃金で将来に見通しが持てない状況です。

国の制度のもとで運営されている社会福祉事業において、このような状況が広がっていることに危機感を禁じえません。

国が本来の公的責任を果たし、社会福祉事業に関わる職員配置基準を見直すとともに、それに見合う予算措置を行い、労働環境を整えることが必要と考えます。

よって、国におかれては、下記の事項について実現されるよう強く要望いたします。

記

1. 国は社会福祉事業にかかわる職員の労働環境を整えるため、配置基準を見直し、それに見合う予算措置を講じること。

かわにし市議会からのお知らせ

●総括質問・一般質問を行う本会議及び予算委員会の日は午前9時30分から始めます

総括質問、一般質問及び予算委員会を予定している日は、午前9時30分開議・開会となりますので、ご注意ください。

また、本会議のほかの議会運営委員会、常任・特別委員会などについては、本会議と併せて開催予定をホームページ等に掲載していますので、傍聴の際の参考にしてください。

なお、これらの会議は当面の間、マスク着用やこまめな換気などの新型コロナウイルス対策を実施した上で開催することとしていますが、傍聴については、慎重にご判断いただくようお願いいたします。

また、感染拡大の状況等によっては急きょ会議の開催予定が変更になることがありますので、最新の情報はホームページをご覧ください。市議会事務局へ直接お問い合わせください。

●ホームページへようこそ

市議会のホームページには会議の開催日程、会議録や議員の政務活動費などについても掲載しています。

また、現在12月定例会の本会議の様子を録画配信しています。本会議場でのやりとりをご家庭などで見ることができますので、ぜひご利用ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議開催予定に変更がある場合は、随時ホームページに掲載します。

3月定例会(予定)

2月16日(水)	午前10時	本会議(招集日)
24日(木)	午前9時30分	本会議(総括質問)
25日(金)	〃	本会議(〃)
28日(月)	〃	本会議(一般質問)
3月1日(火)	〃	本会議(〃)
2日(水)	午前10時	常任委員会
3日(木)	〃	〃
4日(金)	〃	〃
7日(月)	午前9時30分	予算委員会
8日(火)	〃	〃
9日(水)	〃	〃
11日(金)	〃	〃
14日(月)	〃	〃
25日(金)	午前10時	本会議(最終日)

川西市議会 議会中継



編集後記

令和4年の輝かしい新年の幕開けも、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株などによる第6波の影響で、まだまだ見えないウイルスとの戦いが余儀なくされているところです。ワクチンの3回目の接種や引き続きのソーシャルディスタンスにより、自分を守る、みんなで守る、体制づくりを強化していきたいと思えます。

昨年の漢字は「金」そして兵庫県では「動」でありました。その文字の表すように、お金が動く、経済がしっかりと回る社会になつてほしいと思えます。

加えて今年の干支は壬寅(みずのえとら)と「こう」で、厳しい冬を越えて、芽吹きを始め、新しい成長の礎となる年でもありますが、市民の皆さまのために議会が一丸となって市政発展のためにしっかりと取り組んでまいります。

広報委員会

委員長	秋田 修一
副委員長	中井 成郷
委員	岡部 裕子
	岡部 留美
	吉岡 健次
	田中 麻未
	平岡 輝男
	江見 輝男